

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

リンテック株式会社（証券コード:7966）

【据置】

長期発行体格付	A+
格付の見通し	安定的
国内CP格付	J-1

■格付事由

- (1) 粘着関連製品のトップメーカー。剥離剤・粘着剤の開発から塗工までを総合的に手掛けていることが強みであり、競争力の高い製品を多数有する。食品・日用品向けラベルや封筒に用いる洋紙類などの安定需要先の他、自動車や半導体といった成長が見込める分野にも展開している。17/3期には欧米の粘着素材メーカーおよびフィルムメーカーの3社を買収するなど海外事業基盤の強化も進めている。一方、ウインドーフィルムなどを手掛ける米マディコ社は不採算の状況が続いていたが、過年度までに経営合理化策を実施した。
- (2) 安定した経営基盤に変化はない。営業利益の過半を占める電子・光学関連は、半導体市場の減速がマイナス要因となっているが、車載や産業用途向けの需要増加がプラス要因となっている。印刷材・産業工材関連では、海外での需要獲得や経営合理化の効果が表れてきている。事業環境悪化の影響を受けつつも、引き続き、業績は底堅く推移するとJCRでは想定している。また、財務構成は良好で、当面も高い健全性を維持できると考えられる。以上を踏まえ、格付を据え置き、見通しは安定的とした。
- (3) 19/3期営業利益は179億円（前期比10.5%減）と減益となった。パルプを中心とした原材料価格の高騰や半導体関連製品の需要減が影響した。20/3期営業利益は190億円（同5.7%増）と増益を計画している。米中貿易摩擦の影響やスマートフォン需要の低迷で半導体関連製品は先行き不透明感があるものの、積層セラミックコンデンサー関連製品の需要が好調に推移している。このほか、マディコ社の業績改善、洋紙の販売価格改定などが堅調な業績を支える見通しである。
- (4) 19/3期末の自己資本比率は65.3%、DER（金融債務ベース）は0.09倍など良好な水準にある。また、05/3期末以降、実質無借金の状態を維持している。欧米子会社3社の買収に伴い、17/3期末に有利子負債は増加したが、18/3期には減少に転じ、19/3期末にかけても圧縮が進んだ。今後も生産能力増強や拠点再構築などで減価償却費を上回る設備投資が見込まれるが、キャッシュフロー創出力を考慮すれば、引き続き、良好な財務内容を維持可能と考えられる。

（担当）藤田 剛志・金井 舞

■格付対象

発行体：リンテック株式会社

【据置】

対象	格付	見通し
長期発行体格付	A+	安定的

対象	発行限度額	格付
コマーシャルペーパー	100億円	J-1

格付提供方針に基づくその他開示事項

1. 信用格付を付与した年月日：2019年7月17日
2. 信用格付の付与について代表して責任を有する者：窪田 幹也
主任格付アナリスト：藤田 剛志
3. 評価の前提・等級基準：
評価の前提および等級基準は、JCR のホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」(2014年1月6日)として掲載している。
4. 信用格付の付与にかかる方法の概要：
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCR のホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に、「コーポレート等の信用格付方法」(2014年11月7日)、「化学」(2012年3月26日)として掲載している。
5. 格付関係者：
(発行体・債務者等) リンテック株式会社
6. 本件信用格付の前提・意義・限界：
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度を等級をもって示すものである。
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関しての JCR の現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCR が格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
7. 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：
・ 格付関係者が提供した監査済財務諸表
・ 格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
8. 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：
JCR は、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
9. JCR に対して直近 1 年以内に講じられた監督上の措置：なし

■留意事項

本文書に記載された情報は、JCR が、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCR は、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCR は、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCR は、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCR の格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCR の格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいて行っております。JCR の格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCR が保有しています。JCR の格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCR に無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

■NRSRO 登録状況

JCR は、米国証券取引委員会の定める NRSRO (Nationally Recognized Statistical Rating Organization) の 5 つの信用格付クラスのうち、以下の 4 クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則 17g-7(a) 項に基づく開示の対象となる場合、当該開示は JCR のホームページ (<https://www.jcr.co.jp/en/>) に掲載されるニュースリリースに添付しています。

■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL : 03-3544-7013 FAX : 03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.
信用格付業者 金融庁長官(格付)第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座 5-15-8 時事通信ビル